

科目区分	基礎科目	科目名	生活と音楽		科目コード	20L080	担当者	福井 昭史			
対象学生	生活創造学科 ビジネス・医療秘書コース 1年生		学期区分	後期	単位数	2	担当形態	単独			
			授業区分	講義							
科目			施行規則に定める科目区分又は事項等			卒業要件	選択必修				
						免許・資格要件					
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
<p>社会人として必要な、音楽の理解力を一般教養として身に付ける。 人々の生活と音楽との関わりについての理解を深める。 音楽の仕組みを理解し創造的な表現の活動を体験する。</p>						1. 「 <b>良心</b> 」 誠実な人柄と 人間力		2. 「 <b>創造</b> 」 高度な知性と 創造力		3. 「 <b>実践</b> 」 明確な意思と 実践力	
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 表現考力・創造断力	⑤ 実行体力性・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	一般教養としての音楽の知識や歴史を理解し、音楽への興味や関心を高める。										
2.	人々の生活と音楽との関わりを理解する。										
3.	リズムや旋律など音楽の仕組みを理解する。										
4.	創造的に表現する力を身に付ける。					○	○	◎	◎	◎	○
5.						成績評価の方法と割合					
授業方法						<p>日常の授業での課題や提出物等（70%） 授業への取り組みの態度（30%）</p>					
音楽を聴取したり視聴することで、人々の生活と音楽との関わりを理解する。歌を創作して表現する創造的な活動に取り組むことで、リズムや旋律など音楽の仕組みより深く理解し、創造性を養う。											
課題等への対応						授業外学修時間					
課題や提出物等はその都度評価し、アドバイスをを行う。						学習内容を復習し音楽の聴取などをする。（30分程度）					
回数	授業計画					学習課題（予習・復習）					
第1回	人間と音楽（1）音楽の聴き方・曲想や要素の感受					授業後に音楽を様々な聴き方で味わう。					
第2回	人間と音楽（2）生活と音楽・音楽の起源に関する学説と民族音楽					人々の生活と音楽の関わりを考える。					
第3回	人間と音楽（3）音楽の変化・発展・バリ島の村とケチャ					生活の変化と音楽との関わりを考える。					
第4回	人間と音楽（4）心や身体と音楽・音楽療法					自分にとって音楽とは何かを考える。					
第5回	作って歌う・その1（1）唱歌の秘密を探って歌を作る					歌詞にメロディーを創作する。					
第6回	作って歌う・その1（2）歌詞のリズムにメロディーを付ける					自分の作った歌詞にメロディーを創作する。					
第7回	作って歌う・その1（3）作った歌を表現する					創作した歌を表現する。					
第8回	歴史・人物と音楽（1）トルコ行進曲の時代					リズムに着目して音楽を聴く。					
第9回	歴史・人物と音楽（2）フランス革命の時代・古典派からロマン派へ					歴史的な出来事と音楽との関わりを考える。					
第10回	歴史・人物と音楽（3）ナポレオンの時代					歴史的な出来事と音楽との関わりを考える。					
第11回	歴史・人物と音楽（4）ウィーン会議とワルツ・舞曲の時代による変化					リズムやテンポに着目して音楽を聴く。					
第12回	作って歌う・その2（1）ヒット曲の秘密を探って歌を作る					音楽のリズムや旋律の特徴を理解する。					
第13回	作って歌う・その2（2）歌詞のリズムにメロディーを付ける					歌詞にメロディーを創作する。					
第14回	作って歌う・その2（3）作った歌のリズムを工夫する					自分の作った歌詞にメロディーを創作する。					
第15回	作って歌う・その2（4）作った歌を表現する					創作した歌を表現する。					
試験	定期試験を実施しない										
教科書	授業中に適宜プリントを配布する。					<p>受講生へのメッセージ</p> <p>日常生活で無意識に聞いている音楽への理解を深めましょう。創造的な活動をすることで音楽に関する基本的な知識を身に付けましょう。音楽を自分の生活の中に取り入れ、心の癒しや楽しみとし、人生を豊かなものにしましょう。</p>					
参考書等	なし										